

共同運営部門：放射線治療センター

<スタッフ紹介>

役 職	スタッフ名
センター長 放射線科部長兼放射線センター長	中田 耕平
副センター長 診療支援局次長兼放射線部門長	中前 光弘
放射線治療品質管理室長 放射線部門長代理	田原 大世
放射線治療センター担当主幹 医学物理室長	前田 直子

<関連部署>

部署名	部署名
放射線治療科	放射線部門
放射線科	看護局

<特色と概要>

放射線治療装置は直線加速器(リニアック)を使用して、ほとんどの悪性腫瘍や一部の良性疾患を対象に外部照射を行っている。

現在、新規患者の受け入れ(初回診察日)は月曜日から金曜日までの週5日可能となっている。初回診察にて放射線治療の適応となると、概ねその日のうちに治療計画を行い、翌日から治療開始となっている。外科(乳腺)や血液内科(リンパ腫、白血病など)からの依頼が多く、全体の約1/2を占めている。

リニアックは2011年2月にエレクタ社製Synergyを導入し、画像誘導放射線治療機能、マイクロマルチリーフや6軸カウチなどを用い、精度が高く短い時間で終わる放射線治療を実施している。また、特殊放射線治療として脳腫瘍に対する定位放射線治療や骨髄移植前の全身照射にも対応している。

放射線治療計画装置は、最新のアルゴリズムであるモンテカルロ法を搭載したエレクタ社製Monacoを使用し、高精度の治療にも対応できるようになっている。

放射線治療専門技師の資格を持った2名が中心となり、毎日の正確な治療に細心の注意を払っている。専任の医学物理士はリニアックの品質管理と線量測定、治療計画の補助などに携わり、治療が安全に精度よく行われるように管理している。

また、新型コロナウイルスの感染が続いていることから、感染防止の照射マニュアルに則り、陽性患者への照射を行った。

<使用機器>

リニアック1台
放射線治療計画装置2台
治療計画用CT装置1台

<実績>

2023年度

1日平均治療患者数 11名

新規治療患者数 130名、治療部位数 135部位

原発部位別新規患者数 (名)

脳・脊髄	5
頭頸部	13
食道	4
肺・縦隔	11
乳腺	49
胃・小腸・大腸	4
泌尿器	14
造血器・リンパ系	19
骨・軟部	0
良性疾患	11
その他	0

特殊放射線治療 (名)

脳定位照射	0
全身照射	7

<今年度の反省と来年度への抱負>

非常勤医師3名の体制で診察を行っており、新規患者の予約待ちはほとんど発生していない。引き続き、スムーズに治療開始ができるよう、予約調整などを行っていききたい。

昨年度から引き続き、新しい放射線技師の照射業務の研修を行った。研修が終了したため、人数不足が解消し、業務が滞りなく行えるようになった。今後は、高精度治療などに対応するために、外部の研修や勉強会に参加して、レベルアップを図りたい。

昨年度に品質を検証するソフトAkillis RTが導入され、品質管理に使用している。まずはリニアックの平坦度や対称性などの解析、比較を行っており、今後、他の項目についても、Akillis RTのソフトを使用し、品質管理を行っていく。

